



2/7 ~9 物産フェア也大盛況 友好都市龍郷町から訪問



本市の友好都市である奄美大島龍郷町から、徳田康光町長をはじめ奄美物産関係者、志塾「西郷塾」の会員など総勢 21 人が本市を訪れました。七城公民館では菊池源吾に学ぶ会主催で西郷塾の大茂卓郎さんによる講演会を開催。市内の第 3 セクターで開催された奄美物産フェアでは、大島紬の機織りや泥染めの体験、サトウキビジュースなどに客が集まり、物産関係者の皆さんは対応に大忙しでした。



1. 龍郷町から市役所を訪問（右から 3 人目が徳田町長） 2. 講演会 3. 交流親睦会 4. 奄美物産フェア也大盛況

2/8 菊池市まちづくり生涯学習フェスティバル

菊池市泗水ホールで開催され、市内外から約 700 人が参加しました。ステージでは 10 団体による発表があり、特色ある出し物に会場からは惜しめない拍手が送られました。テレビ番組でおなじみの森永卓郎さんの講演では、ユーモアたっぷりの話で会場は大にぎわい。そのほか簡単クラフト作り、絵本の読み聞かせやふれあい動物園コーナー、公民館講座の作品展示なども行われ、子どもから大人までフェスティバルを満喫していました。



1. 「不況に負けない! 家計防衛術」と題して講演した森永さん（獨協大学教授・経済アナリスト） 2. KID'S 3B ダンスの軽快な踊り 3. 菊池女子高のファッションショー（モデル：双羽幼稚園児）

2/7 栗原さんとイチゴ部会が受賞 第53回県野菜振興大会

第 53 回熊本県野菜振興大会入賞者・功労者の表彰式が熊本市内のホテルで行われ、元菊池地域農業協同組合メロン部会長の栗原康敏さん（熊本県野菜園芸功労者）と、同組合イチゴ部会（熊本県野菜組織活動コンクール会長賞秀賞）が受賞しました。

この大会は、県野菜振興のための課題認識と意識統一に努め、地域枠を超えた生産組織の連携・協調による生産・販売力の更なる強化を図ることを目的に開催されています。



1. 栗原さん 2. イチゴ部会の皆さん

2/6 (株)菊池農場と小川さん 県農業コンクール表彰

平成 25 年度熊本県農業コンクール大会入賞者の表彰式が熊本市内のホテルで行われ、本市の(株)菊池農場（食と農部門・優良賞）と小川権一さん（地域貢献賞）が受賞しました。

この大会は、熊本の農業や農村社会の振興・発展に積極的に取り組み、豊かで住みよい地域づくりに貢献している優秀な農業経営者や組織などが表彰されるものです。

受賞おめでとうございます。



1. (株)菊池農場代表取締役の臺典子さんと取締役の久川浩一郎さん 2. 小川さん

2/7 赤米おいしいね! 朝食バイキング



赤米を使った朝食会が市内のホテルであり、菊池北小 5 年生 30 人が招待されました。この赤米は、昨年 12 月に同校から菊池温泉観光旅館協同組合に寄贈されたもので、ご飯、おかゆ、生地に赤米を練り込んだピザのほか、地元食材を使った料理が振る舞われました。5 年生の平井智大くんが、「おいしい朝食をありがとうございました。これからも赤米をよろしくお願いします」とお礼の言葉を述べました。



炊き立ての赤米に並び児童たち

2月 泗水公民館の愛称が 決まりました!

昨年 9 月から 11 月にかけて愛称を募集し、市内外から 146 件の応募がありました。選定委員会により厳選な審査の結果、次のとおり愛称が決まりました。たくさんのご応募ありがとうございました。新しい泗水公民館は 7 月オープン予定です。

最優秀賞 有朋の館
優秀賞 孔子の里ふれあい交流館
泗水交流センター 絆
泗水ふれあい館



泗水公民館「有朋の館」完成イメージ図

2/7 くまもとキッズウィークに くまモンが来たモン!

花房小学校に県マスコットキャラクター「くまモン」が訪れ、児童や花房保育園の園児、地域住民と交流しました。これは、基本的生活習慣の定着や教育・保育の充実に関わる取り組みを実施することで、就学前教育の重要性を普及・啓発する「くまもとキッズウィーク」の一環で行われたものです。

くまモンの登場に大喜びの子どもたちは、くまモン体操と一緒に踊ったり生活習慣に関する〇×クイズに答えたりして楽しんでいました。



くまモンと一緒に〇×クイズに挑戦



2/16 ソチ五輪「菊池姉妹」を応援 パブリックビューイング

ソチ五輪スピードスケート女子 1500m に出場した菊池彩花選手（長野県）を、「菊池」つながりで応援するパブリックビューイング（観戦会）が市役所で行われ、甲冑姿の職員など約 70 人が声援を送りました。五輪に出場した彩花さんと妹の萌水さんが菊池一族の末裔であることから、市を上げて応援しようと企画。小旗やバルーンスティックを打ち鳴らして応援し、甲冑姿の職員がホラ貝を吹いて盛り上げました。



深夜の開催にもかかわらず多くの市民が参加し声援を送りました（彩花選手の結果は 31 位）

2/24 風になれ!市民ランナー 第24回菊池市民駅伝大会

上位の結果と区間賞は次のとおりです。（敬省略）

順位	チーム名	記録
1 位	菊之池	1 時間 10 分 08 秒
2 位	花房	1 時間 14 分 51 秒
3 位	迫・水迫	1 時間 17 分 34 秒

区間	氏名	チーム名	記録	距離（*）
1 区	田村 優	菊之池	9 分 12 秒	2.1
2 区	植田祐平	高野瀬	8 分 16 秒	1.9
3 区	城 拓磨	高野瀬	8 分 58 秒	2.6
4 区	中原 暁	花房	8 分 08 秒	1.9
5 区	高宮智史	菊之池	9 分 21 秒	2.6
6 区	吉田 貴	花房	7 分 35 秒	1.9
7 区	田中正章	菊之池	8 分 14 秒	2.6
8 区	池田二郎	菊之池	8 分 31 秒	1.9



菊池市中央グラウンドをスタート・ゴールに全 8 区間 17.5km のコースを 10 チームが快走しました

2/13 宝くじ助成事業で 区用備品を整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、小野崎自治会にコミュニティ活動備品（自走式草刈機、発電機、冷蔵庫、オープンレンジ、会議用高テーブルなど）が整備されました。

このコミュニティ助成事業は、社会貢献広報事業費を財源として、財団法人自治総合センターが助成決定を行うものです。小野崎自治会のますますの活性化が期待されます。



小野崎自治会に整備された備品

2/21 故本藤洋一さんが 従五位・旭日小綬章を受章

昨年 12 月に亡くなった本藤洋一さんが従五位・旭日小綬章を受章し、江頭市長から妻の本藤ヨシ子さんに伝達されました。今回の受章は、7 期 28 年にわたり旧菊池市議会議員として市政の発展と福祉の向上に貢献した地方自治功労が認められたものです。故本藤さんは、教育環境の整備などに大きな功績を残しています。また、地域への恩返しとこれからの地域づくりのためにと、本藤ヨシ子さんから 100 万円の寄付をいただきました。



江頭市長から伝達を受けた本藤さん。寄付金は大切に使用させていただきます

2/12 全中水泳競技大会優勝 神崎百恵さんへ市民表彰

昨年 8 月に行われた第 53 回全国中学校水泳競技大会で、200m 個人メドレーで優勝、同 400m 個人メドレーで準優勝と輝かしい活躍を見せた泗水中 3 年の神崎百恵さんに表彰状と記念品が授与されました。神崎さんは、シンガポール・ナショナルエージグループ選手権などでも上位入賞を果たしており、その功績が認められ今回の受賞につながりました。「夢はオリンピック出場」と語る神崎さん。今後の活躍が期待されます。



木村利昭副市長から表彰を受ける神崎さん

2/13 家電製品の疑問解消 消費者懇談会

消費者と電機関係団体の懇談会が市役所で開催されました。消費者に家電製品に関する知識と理解を深めてもらうことなどを目的に日本電化協会が主催しているもので県内では 3 回目。会には熊本県電気商工組合や菊池市女性の会、企業、行政から 28 人が出席。女性の会からのさまざまな疑問に組合員や企業が答えました。女性の会会長の中原恵さんは「疑問が解決できてとてもためになりました。家族や他の会員にも周知したい」と話しました。



消費者と販売店や企業の参加者が意見を交わしました

2/12 決意新たに! 菊池南中学校立志式

菊池南中学校で立志式が行われ、2 年生 149 人が参加しました。最初に江頭市長が「世界・夢・挑戦」と題し講演。海外を体験したことで分かった本市の素晴らしさなどを生徒に伝え、「夢を持ち続け、恐れずに挑戦してください」とエールを送りました。その後、生徒たちは 16 グループに分かれて市内の史跡など約 10km のコースを散策。戸崎城址や菊池一族の墓所などを巡り、地域の歴史や文化を学びながらふるさとを再発見していました。



史跡を巡りながら歴史を学ぶ生徒たち

2/12 命の大切さを学ぶ教室 泗水中で講演会

「命の大切さを学ぶ教室」が泗水中学校体育館で開催され全校生徒が参加しました。講師は、平成 17 年 7 月に次女の有希さんを交通事故で亡くした交通事故被害者遺族の佐藤逸代さん。愛娘を亡くした心の葛藤、最後の手紙の紹介など自らの体験談を語り、命の大切さを伝えました。生徒を代表して 2 年の西濱祐希さんがお礼を述べ、「家族や友達がなくなることは辛く悲しい。人の命・自分の命を守っていきたい」と話しました。



講話する佐藤さん



2/25 「駒留めの桜」を知ろう! 花房小で木の授業

花房小学校で木の授業が開かれ、5年生8人が桜について学習しました。同小出身で樹木医の今村能子さんが講師となり、「地域の宝 駒留めの桜を知ろう」と題して授業を実施。写真を見たり〇×クイズをしたりしながら桜の花の色や大きさの違い、病気の種類などを分かりやすく説明しました。

授業を受けた瀬口拓生くんは「桜のことをたくさん知ることができ、いろんな病気や虫から桜を守らないといけないと思いました」と話しました。



児童に桜のことを分かりやすく説明する今村さん

2/25 フィリピン台風災害義援金を日赤に寄付

昨年11月8日にフィリピン中部を襲った台風災害に対して、菊池市、菊池国際交流協会、市内第3セクターで募金活動を行い、26万円が集まりました。杉田貞治さん（菊池国際交流協会会長・菊池市第3セクター連絡協議会会長）が本市を代表し、日本赤十字社熊本県支部に義援金を寄付しました。義援金は日赤が行う復興支援や開発協力などの活動ととし、被災者のために活用されます。募金へのご協力ありがとうございました。



杉田会長から日赤熊本県支部の川口弘幸事務局長に義援金が寄付されました

2/24 リバテープ製薬(株)と 進出協定を締結

医薬品製造販売のリバテープ製薬（熊本市）が、林原・蘇崎工業団地内に第3工場を増設することが決まり、協定調印式が市役所でありました。新工場は7月に着工予定で用地約6万㎡、総投資額は約13億円。医療用消毒剤などを生産し2020年までに順次稼働、来年4月の操業開始を予定しています。協定式で江頭市長は「今日の日を首を長くして待っていた。この協定は地域経済活性化の弾みになる。市も全力でサポートしたい」と述べました。



協定締結後に握手を交わす星子邦久社長と江頭市長

2/24 万句のふるさと菊池 表彰式

第8回万句のふるさと菊池の表彰式が七城公民館で行われ、出席した21人の児童・生徒に表彰状と記念品が贈られました。今回の募集には、俳句17,057句、短歌2,222首、合計19,279と県内外からたくさんの作品が寄せられ、30作品が最優秀賞に選ばれました。

応募作品の中から選ばれた200の入選作品は、重朝公の句にちなみタイトルとなった句・歌集「月松」に掲載され、各学校などに贈られます。



受賞した皆さん

2/27 くれよん・くらぶ 県優良読書グループ表彰

絵本などの読み聞かせグループ「くれよん・くらぶ」（岡本由紀代表）が平成25年度熊本県優良読書グループ表彰を受賞し、報告のため市役所を訪問しました。くれよん・くらぶは七城小PTAの母親部を中心に平成9年に発足。現在は七城小・中学校で毎月読み聞かせを行っています。代表の岡本さんは「18年間続けてきて良かった。活動は私たちの人生の糧にもなる。これからも地域の子どものために続けていきたい」と抱負を語りました。



受賞した「くれよん・くらぶ」の皆さん

2/26 菊池ボーイズがサヨナラV 少年野球春季大会県予選

第44回春季全国大会中学生の部、中九州支部予選が2月15・16日、山鹿市民球場で行われ、創部2年目の熊本菊池ボーイズが初優勝を飾り全国への切符を手に入れました。大会には14チームが出場。決勝は延長9回までもつれ込む接戦となり、上益城ボーイズを相手に8対7でサヨナラ勝ちを収めました。大会に出場した後藤遼太郎さん（菊池南中2年）は「優勝はいろんな人のおかげ。全国制覇を目指して頑張りたい」と笑顔を見せました。



優勝報告のため市役所を訪問した熊本菊池ボーイズ

2/24 女子高生の活動に感謝 KCG30に感謝状

市内の女子高生30人で構成する防犯ボランティア団体・KCG30の卒業生13人に、菊池警察署から感謝状と記念品が贈られました。KCG30は平成22年から地域安全運動、キャンペーン、チラシ配りなどの活動に参加。今回卒業するメンバーに対し活動への感謝として贈られました。菊池女子高3年の山崎夏さんは「3年間活動して日頃から高い意識を持って取り組めるようになりました。これからも積極的に取り組んでいきたい」と抱負を語りました。



感謝状と記念品を手渡しするKCG30の皆さんと感謝状を手渡した松山昌昭前菊池警察署長、江頭市長

2/24 NTTグループが「電話お願い手帳」などを寄贈

NTTグループから「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便（ファクシミリ送信用紙）」が本市に寄贈されました。この寄贈は昭和58年から実施されており今年で32年目。耳や言葉が不自由な人の日常生活が便利になるようにと贈られています。福祉課と各総合支所民生課に置いてありますのでご活用ください。

「電話お願い手帳」をお持ちの人を見かけたときにはご協力をお願いします。



寄贈された電話お願い手帳とふれあい速達便